

小売業

1. 評価対象企業（23 社）

【百貨店】（4 社）

J.フロント リテイリング、三越伊勢丹ホールディングス、高 島 屋、
丸 井 グ ル ー プ

【総合小売・コンビニエンスストア】（3 社）

セ ブ ン & ア イ ・ ホ ー ル デ ィ ン グ ス 、
パ ン ・ パ シ フ ィ ッ ク ・ イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル ホ ー ル デ ィ ン グ ス 、 イ オ ン

【ネット通販】（3 社）

ア ス ク ル 、 M o n o t a R O 、 Z O Z O

【専門店等】（13 社）

エービーシー・マート、マツキヨココカラ&カンパニー、ウエルシアホールディングス、
ツルハホールディングス、良品計画、スギホールディングス、アシックス（新規）、
しまむら、ケーズホールディングス、ヤマダホールディングス、ニトリホールディングス、
ファーストリテイリング、サンドラッグ

（証券コード協議会銘柄コード順）

2. 評価方法

（1） 評価基準の構成および配点

評価分野	下記本文中の略称	評価 項目(注)数	配点
①経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の 基本スタンス	経営陣の IR 姿勢等	3	29
②説明会、インタビュー、説明資料等にお ける開示	説明会等	4	19
③フェア・ディスクロージャー	フェア・ディスクロージャー	4	14
④ESG に関連する情報の開示	ESG 関連	4	30
⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示	自主的な情報開示	1	8
計		16	100

（注）具体的な評価項目の内容および配点は後掲。

（2） 評価実施アナリストは 30 名（所属先 23 社）である。（氏名等は後掲）

3. 評価結果

（1） 総括（「ディスクロージャー評価比較総括表」は後掲）

- ① 本年度は、新規に企業を加えたほか、**経営陣の IR 姿勢等**を中心に項目内容を見直した。このため、昨年度と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 70.5 点（昨年度 69.0 点）、総合評価点の標準偏差は 10.7 点（昨年度 10.6 点）であった。
- ② 業態別の総合評価平均点は、高得点順に、百貨店（4 社）：79.6 点（昨年度 78.1 点）、総合小売・コンビニ

エンスストア（3社）：74.1点（昨年度 75.3点）、ネット通販（3社）：70.2点（昨年度 70.1点）、専門店（13社）：67.0点（昨年度 64.1点）となった。専門店においては、一部の企業が高得点となったため、同業態の総合評価平均点は大きく改善したが、評価対象企業間の総合評価点の差は依然として大きく、下位評価企業の中でさらに総合評価点を下げた企業もあり、一層の改善努力を求めたい。

- ③ 5つの評価分野毎に平均得点率（評価対象企業の平均点／配点〈以下省略〉）を見ると、**経営陣のIR姿勢等**が70%（昨年度 69%）、**説明会等**が79%（昨年度 78%）、**フェア・ディスクロージャー**が85%（昨年度 83%）、**ESG関連**が65%（昨年度 62%）、**自主的情報開示**が46%（昨年度 50%）となった。

- ④ 評価項目について見ると、平均得点率80%以上の評価項目は6項目となり、そのうち85%以上は次の4項目（**説明会等**の中の2項目（(a)(b)）および**フェア・ディスクロージャー**の中の2項目（(c)(d)））であった。

(a) 「月次の売上状況は、十分に開示されていますか」（平均得点率87%〔昨年度 89%〕）（得点率（評価点／配点〈以下省略〉）：10%未満1社・30%台1社・70%台2社・80%台2社・90%台8社・100%9社）

(b) 「各四半期決算（本決算・中間決算を含む）発表後、電話会議や補足資料などを通じて速やかに業績動向が把握できるようにしていますか。また、説明会の日程等に十分配慮していますか」（平均得点率88%〔昨年度 85%〕）（得点率：50%台1社・70%台2社・80%台6社・90%台14社）

(c) 「経営陣がメディアを含む総合的な情報開示や取材対応等につき、不公平や混乱が生じないようにしていますか」（平均得点率89%〔昨年度 91%〕）（得点率：60%台1社・80%台7社・90%台15社）

(d) 「リモートツール等を活用した有用かつ、速やかな情報提供を行っていますか」（平均得点率93%〔昨年度 88%〕）（得点率：20%台1社・80%台1社・90%台13社・100%8社）

- ⑤ 一方、次の**自主的情報開示**の項目は、40%台となり、全16項目の中で最も低い水準であった。

・ 「決算説明会、ESG説明会以外のIRイベントを積極的に実施し、かつその内容が充実していますか」（平均得点率46%〔昨年度 50%〕）（得点率：20%台9社・30%台1社・40%台2社・50%台5社・60%台4社・70%台1社・80%台1社）

(2) 上位3企業の評価概要

第1位 アシックス（ディスクロージャー優良企業〔初受賞〕、総合評価点84.6点〔新規評価〕）

- ① 同社は、**経営陣のIR姿勢等**（得点率〈以下省略〉88%）、**自主的情報開示**（83%）が第1位、**ESG関連**が第2位（79%）、**フェア・ディスクロージャー**が第6位（95%）、**説明会等**が同得点第12位（81%）となった。なお、同社は、本年度の新規評価対象企業であるが、初受賞となった。

- ② **経営陣のIR姿勢等**においては、「IR部門の機能」および「IRの基本スタンス」が共に最も高い評価となった。また、「経営陣のIR姿勢」（第2位）も90%以上の得点率となった。これらの結果、この分野において第1位となった。これらに関連して、経営トップがIRの重要性をよく理解しているとの声が寄せられたほか、投資家やアナリストの意見をデータ開示や市場コミュニケーションに反映している点を評価する声があった。

- ③ **説明会等**においては、「説明会、インタビューにおける開示」が最も高い評価となり、「決算情報開示」も同得点第1位となった。これらに関連して、細かい業績動向の変化についても詳細に回答してくれるとの声があったほか、その場で回答できなかった質問に関してもフォローアップする姿勢があるとの声もあった。「月次の売上状況が、十分に開示されていること」は、四半期決算でまとめて開示していることもあり、第22位であった。

- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、「リモートツール等を活用した有用かつ、速やかな情報提供を行っていること」および「外国人投資家向け情報提供」が共に満点となった。また、「決算説明会等の内容（質疑応答を含む）を迅速かつ公平にウェブサイトに掲載していること」（同得点第5位）および「フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢」（同得点第10位）も共に90%以上の得点率であった。なお、市場とのコミュニケーションに積極的であることを評価しつつ、一部のアナリストや投資家の間で情報格差がある印象との声があった。

- ⑤ **ESG関連**においては、「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」が同得点第1位となった。また、「ESGに関する取組み」（3項目）のうちの「人的資本に関する項目」（同得点第3位）が評価された。な

お、「ESG に関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るよう努めていること。また、企業価値関連性への言及が十分であること」は第7位であった。

- ⑥ **自主的情報開示**の「決算説明会、ESG 説明会以外の IR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」は最も高い評価となった。充実していたイベントとして、インベストメントデイ、中国ツアーを挙げる声があった。

これら同社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、同社を本年度の当業種における優良企業として選定した。

第2位 三越伊勢丹ホールディングス（総合評価点 84.4 点〔昨年度同点〕、昨年度第1位）

- ① 同社は、**説明会等**が同得点第1位（89%）、**経営陣の IR 姿勢等**が第2位（86%）、**フェア・ディスクロージャー**が同得点第2位（97%）、**ESG 関連**（79%）、**自主的情報開示**（68%）が同得点第3位となった。
- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、「経営陣の IR 姿勢」が最も高い評価となった。また、「IR の基本スタンス」も第2位となった。これらに関連して、経営トップが IR の重要性をよく理解しているとの声のほか、IR における経営戦略や施策の狙いがわかりやすく伝わりとの声が寄せられた。また、半年毎の社長スモールミーティングを評価する声もあった。「IR 部門の機能」は同得点第4位となった。これに関連して、IR チームの体制、情報の質・量が充実しているとの声があった。
- ③ **説明会等**においては、「説明会、インタビューにおける開示」および「説明資料等（短信およびその付属資料を含む）における開示」（2項目計）が共に同得点第2位となった。これらに関連して、月次開示が詳細であるとの声があった。「決算情報開示」（同得点第7位）は、トップと僅差であった。これらの結果、この分野において同得点第1位となった。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、「外国人投資家向け情報提供」が満点となった。また、「ウェブサイトやリモートツールによる情報提供」（2項目計）が同得点第2位に、「フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢」が同得点第4位となり、いずれもトップとは僅差であった。
- ⑤ **ESG 関連**においては、「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」が同得点第1位となった。これに関連して、KPI 目標、資本政策等が明示されていることを評価する声があった。「ESG に関する取組み」（3項目計）は第6位（昨年度第7位）となった。
- ⑥ **自主的情報開示**の「決算説明会、ESG 説明会以外の IR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」は同得点第3位となったが、トップとはやや差があった。充実していたイベントとして、事業戦略説明会を挙げる声があった。

第3位 良品計画（ディスクロージャーの改善が著しい企業、総合評価点 83.0 点〔昨年度比+8.6 点、一昨年度比+10.0 点〕、〔昨年度第8位、一昨年度第10位〕）

- ① 同社は、**自主的情報開示**が第2位（78%）、**経営陣の IR 姿勢等**が第3位（82%）、**説明会等**が同得点第3位（86%）、**フェア・ディスクロージャー**が第4位（96%）、**ESG 関連**が同得点第5位（77%）となった。昨年度に比べて、5分野のうち4分野において得点率が改善した。
- ② **経営陣の IR 姿勢等**においては、「経営陣の IR 姿勢」（同得点第3位）、「IR 部門の機能」（第3位）および「IR の基本スタンス」（同得点第3位）はいずれも、昨年度に比べて得点率が大きく改善した。これらの結果、この分野において第3位（昨年度第10位）となった。これらに関連して、経営トップによる詳細な情報発信がなされるようになったとの声があったほか、説明会、スモールミーティングに積極的に関与しており、理解が深まるとの声が寄せられた。また、IR の質・量共に継続的な改善が見られるとの声も寄せられた。
- ③ **説明会等**においては、「決算情報開示」が同得点第1位となった。また、「説明会、インタビューにおける開示」が同得点第5位（昨年度同得点第13位）となった。これらに関連して、質疑応答の時間を十分にとっているとの声、説明会の日程等について配慮しているとの声があった。「説明資料等（短信およびその付属資料を含む）における開示」（2項目計）は同得点第6位（昨年度第14位）となった。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、「フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢」および「外国人投資家向け情報提供」が共に同得点第1位となった。また、「ウェブサイトやリモートツールによる情報提供」（2項

目計)も同得点第4位となり、90%以上の得点率であった。

- ⑤ **ESG 関連**においては、「ESGに関する取組み」(3項目計)が第4位(昨年度第8位)となった。「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」は第6位(昨年度第13位)であった。これらに関連して、ESG説明会の初開催を評価する声があった。
- ⑥ **自主的情報開示**の「決算説明会、ESG説明会以外のIRイベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」は第2位となった。充実していたイベントとして、社長交代時の中期経営計画説明会、商品展示会、店舗見学会等を挙げる声が多く寄せられた。

同社は、このようにディスクロージャーの改善が著しいので、「**ディスクロージャーの改善が著しい企業**」に選定した。

以 上

2025年度 ディスクロージャー評価比較総括表（小売業）

(単位:点)

順位	評価項目 評価対象企業	総合評価 (100点)	1. 経営陣のIR姿勢、 IR部門の機能、IR の基本スタンス	2. 説明会、インタビュー、 説明資料等における 開示	3. フェア・ディスク ロージャー		4. ESGに関連する 情報の開示		5. 各業種の状態に即した 自主的な情報開示		前回 順位	
			評価項目3 (配点 29点)	評価項目4 (配点 19点)	評価項目4 (配点 14点)	評価項目4 (配点 30点)	評価項目1 (配点 8点)					
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位		
1	7936 アシックス	84.6	25.5	1	15.4	12	13.3	6	23.8	2	6.6	1
2	3099 三越伊勢丹ホールディングス	84.4	24.8	2	16.9	1	13.6	2	23.7	3	5.4	3
3	7453 良品計画	83.0	23.9	3	16.3	3	13.5	4	23.1	5	6.2	2
4	8252 丸井グループ	82.9	22.1	9	15.9	6	13.8	1	25.7	1	5.4	3
5	3086 J. フロントリテイリング	81.4	22.5	8	16.9	1	13.4	5	23.7	3	4.9	6
6	9983 ファーストリテイリング	79.0	22.7	5	15.5	10	13.6	2	23.1	5	4.1	11
7	2678 アスクル	76.9	23.7	4	15.3	14	13.0	7	20.2	10	4.7	7
8	7532 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	76.5	22.7	5	15.8	7	12.8	10	20.9	9	4.3	9
9	3382 セブン&アイ・ホールディングス	74.9	20.5	11	15.4	12	12.0	11	21.7	7	5.3	5
10	8227 しまむら	73.8	22.7	5	16.1	5	11.9	13	18.9	13	4.2	10
11	8267 イオン	71.0	19.2	18	14.5	15	12.9	9	19.7	12	4.7	7
12	8282 ケーズホールディングス	70.8	21.1	10	16.3	3	11.7	15	20.1	11	1.6	23
13	8233 高島屋	69.8	19.9	16	15.5	10	11.9	13	18.8	14	3.7	12
14	3088 マツキョココカラ&カンパニー	68.2	20.0	15	13.6	19	11.2	17	21.2	8	2.2	17
15	3064 MonotaRO	68.0	20.1	14	15.7	8	11.2	17	18.7	16	2.3	15
16	3141 ウエルシアホールディングス	66.3	19.5	17	15.6	9	11.7	15	16.1	21	3.4	13
17	3092 ZOZO	65.8	20.5	11	12.9	22	13.0	7	17.1	17	2.3	15
18	7649 スギホールディングス	65.0	20.4	13	14.5	15	10.8	21	17.1	17	2.2	17
19	3391 ツルハホールディングス	64.1	18.6	20	14.3	17	12.0	11	17.0	19	2.2	17
20	9989 サンドラッグ	62.7	19.2	18	14.0	18	11.1	19	16.6	20	1.8	22
21	9831 ヤマダホールディングス	62.4	17.6	21	13.2	21	10.9	20	18.8	14	1.9	21
22	9843 ニトリホールディングス	47.9	10.9	23	10.7	23	7.6	22	15.8	22	2.9	14
23	2670 エービーシー・マート	42.7	11.9	22	13.5	20	7.5	23	7.8	23	2.0	20
	評価対象企業評価平均点	70.54	20.44		14.95		11.93		19.55		3.67	

2025年度の具体的評価項目および配点（小売業）

【評価期間：2024年7月～2025年6月】

1. 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス（29点）	配点	委員のみ
(1)経営陣のIR姿勢 ・経営トップがIR活動に理解を示し、企業価値向上につながるよう注力していますか。また、IR活動で得られた知見や意見を経営活動に活かしていますか。 【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】	9	
(2)IR部門の機能 ・IR部門にグループ会社を含む十分な情報がタイムリーに集積されており、IR部門が経営陣の代弁者として有益なディスカッションができますか。	9	
(3)IRの基本スタンス ・当該企業のディスクロージャー・IR全体を通じて、企業理念・中長期ビジョン・事業リスクを含め、業績の好不調や不祥事の有無にかかわらず、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善していますか。	11	
2. 説明会、インタビュー、説明資料等における開示（19点）	配点	委員のみ
(1)説明会、インタビューにおける開示 ・決算説明会、インタビュー等における会社側の説明および質疑応答は十分に満足できるものですか。 【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】	6	
(2)説明資料等（短信およびその付属資料を含む）における開示（以下①②については、持株会社の場合、主要事業会社についての記載を評価する） ①実績および次期事業計画について、決算短信・添付資料と同時に、企業分析に必要なかつ十分な補足資料が開示されていますか。また、セグメント分類をはじめ会計方針等の変更が生じた場合、過去の数値と比較ができるような情報の開示が十分に行われていますか。 ②月次の売上状況は、十分に開示されていますか。	8 2	
(3)決算情報開示 ・各四半期決算（本決算・中間決算を含む）発表後、電話会議や補足資料などを通じて速やかに業績動向が把握できるようにしていますか。また、説明会の日程等に十分配慮していますか。	3	
3. フェア・ディスクロージャー（14点）	配点	委員のみ
(1)フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢 ・経営陣がメディアを含む総合的な情報開示や取材対応等につき、不公平や混乱が生じないようにしていますか。	3	
(2)ウェブサイトやリモートツールによる情報提供 ①決算説明会等の内容（質疑応答を含む）を迅速かつ公平にウェブサイトに掲載していますか。 ②リモートツール等を活用した有用かつ、速やかな情報提供を行っていますか。	5 2	
(3)外国人投資家向け情報提供 ・英文による情報提供は充実していますか。（0～4点の整数で評価）	4	●
4. ESGに関連する情報の開示（30点）	配点	委員のみ
(1)ESGに関する取組み ①ESGに関する十分なデータ、目標達成に向けての具体的な戦略、および進捗状況が開示されていますか。また、企業価値関連性への言及は十分ですか。 ②ESGに関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るように努めていますか。また、企業価値関連性への言及は十分ですか。 ③人的資本に関する課題、サプライチェーンの環境・人権リスクやその対応方針を積極的に開示していますか。その進捗状況や経営戦略との関係性、企業価値関連性を適切に説明していますか。	6 6 6	
(2)目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示 ・中期経営戦略や長期ビジョンを公表し、株主還元策や資本政策（資本コスト・リターン）、経営目標等を具体的かつ納得性の高い数値で示していますか。	12	
5. 各業種の状況に即した自主的な情報開示（8点）	配点	委員のみ
・決算説明会、ESG説明会以外のIRイベント等を積極的に実施し、かつその内容が充実していますか。〔過去1年間を目安に評価〕 【充実していたIRイベント等名をコメント欄に記入して下さい】	8	

（注）委員のみ記入の●は「調整・統一入力項目」

小売業専門部会委員

部 会 長	小場 啓司	モルガン・スタンレー MUFG 証券
部会長代理	高橋 俊雄	みずほ証券
	風早 隆弘	UBS 証券
	金森 都	SMBC 日興証券
	仲西 恭子	アセットマネジメント One
	西村 俊一	三井住友 DS アセットマネジメント
	村田 大郎	JP モルガン証券

評価実施アナリスト（30 名）

饗場 大介	岩井コスモ証券	小林 大輝	野村證券
朝枝 英也	みずほ証券	重岡 絵美里	大和証券
有沢 正一	岩井コスモ証券	高田 訓弘	三菱 UFJ アセットマネジメント
飯塚 恭平	第一生命保険	高橋 俊雄	みずほ証券
五十崎 義将	東京海上アセットマネジメント	田村 真一	極東証券経済研究所
井上 昂洋	シティグループ 証券	勅使河原 充	朝日ライフ アセットマネジメント
江上 誠	三井住友トラスト・アセットマネジメント	永田 和子	QUICK
大場 剛平	野村アセットマネジメント	仲西 恭子	アセットマネジメント One
風早 隆弘	UBS 証券	納 博司	いちよし経済研究所
金森 都	SMBC 日興証券	西村 俊一	三井住友 DS アセットマネジメント
金森 淳一	岡三証券	樋口 夏子	三井住友トラスト・アセットマネジメント
川原 潤	大和証券	堀井 章	ニッセイアセットマネジメント
岸本 晃知	みずほ証券	村田 大郎	JP モルガン証券
高 英詞	野村アセットマネジメント	山岡 久紘	野村證券
小場 啓司	モルガン・スタンレー MUFG 証券	横山 雄一	三菱 UFJ 信託銀行

（注） 上記各アナリストの評価実施企業は、各人それぞれ異なることに留意。